



CONTENTS

特集1	普及啓発活動報告	2
特集2	シルバーフェスティバル報告	4
	7区通信	6
	就業先情報(西区)	16
	会議開催状況	17
	実績報告/事故発生状況	18
	歴史散歩(城南区)	19
	互助会だより	20
	会員のひろば	22
	事務局からのお知らせ/編集後記	裏表紙



写真: 高橋 勉 (早良区)

公益社団法人 福岡市シルバー人材センター

特集

普及啓発活動報告

各出張所ではさまざまな普及啓発活動に取り組んでいます。

東区

10月11日(土)午前9時より、JR箱崎駅・JR香椎駅・西鉄千早駅の周辺で、45名の会員が参加してリーフレットを配布し、センターのPRとご利用をお願いしました。

通行人の中には、「シルバーさんは利用しとるよ」「剪定頼みよるよ」という声もあり、「今後ともよろしく願います」と明るく笑顔でPRしました。

また、5月の「博多どんたく」の時にも香椎会場でリーフレットを配布しており、民需拡大に頑張っています。



JR 香椎駅



西鉄千早駅

広報委員 今林 隆雄

博多区

10月18日(土)午前10時に、東月隈の下月隈団地・中央公園に会員15名が集合しました。

暑いぐらいの秋晴れの下、3班に分かれて、打合せ通りのエリアに向かい、約500世帯のお住まいにチラシの配布を行いました。およそ1時間で配布完了。中央公園にて配布の感想などお互い話し合いの後、解散しました。



広報委員 戸川 博文

中央区

10月11日(土)11時から5地区(地下鉄薬院大通り駅、西鉄薬院駅ビル前、西鉄平尾駅前、六本松駐輪場、唐人町駐輪場の周辺)で、道行く中高年の方にシルバー会員を募るリーフレット(ウェットティッシュ入り)を笑顔で配布しました。なかには、立ち止まって熱心に聞かれる方もいました。



また、6月8日(日)「ラブアース・クリーンアップ2014」開催の折も、中央出張所から会員116名が参加し、会場でシルバー人材センターのPRをしました。

広報委員 井手上 勉

南区

- 実施日時 10月1日(水)午前9時30分～10時45分
- 実施場所 井尻駅周辺・井尻商店街周辺
- 参加人数 18名

当日は天気もよく絶好の普及啓発活動ができました。参加した会員18名は通行している方々にリーフレットを手渡ししながら、センターのPRを行いました。「よろしくお願ひします。ご覧になってください」と。すると笑みを浮かべながら「有難うございます。朝早くから大変ですね」と気持ちよく受け取られていました。



また、井尻商店街の役員さんのご好意で、商店街のチラシに「ワンコインお助け隊」の案内を入れてもらっています(7,500部)。

高宮西地区では、地域の会員(有志)が中心になり、自主的にPR活動をしています。

広報委員 高濱 一郎

城南区

10月15日(水)午後6時半から、城南区保健福祉課主催の「ケアマネージャー会議」で、区内で高齢者等のお世話をされているケアマネージャー約50名の皆さんに、永富委員長が「ワンコインお助け隊」などシルバー人材センターの活動内容をPRしました。



10月18日(土)午前10時から、城南区内の3団地(金山・荒江・堤)にリーフレット等をポスティングしました。17名の会員がそれぞれ3地区に参集して、団地の1・2階すべてに投函しました。藤村就業開拓員は配布に際し「団地へのPR活動は、新規拡大の第一歩です」と啓発活動の現状を訴えました。



広報委員 橋本 修一

早良区

これまでの地下鉄出入口付近での配布に変えて、普及啓発活動用リーフレットとウェットティッシュを入れたパックを、地域班長により750部、会員有志により860部、事務所員により160部配布しました。

配布は①家事援助が期待される高齢者宅②剪定・刈払除草等を必要とされる庭や空き地のある家をターゲットとしました。就業先が開拓されることを期待しています。



広報委員 高橋 勉

西区

10月4日(土)に、福重団地で自治会長に協力を得て、リーフレットとウェットティッシュのポスティングをしながら、「ワンコインお助け隊」事業を中心に普及啓発活動を実施しました。

また10月21日(火)には、西区保健福祉センター主催の「子育てフェスタ2014」の会場で、お子さま連れのお母さんにリーフレットを配布しながら、子育て支援や家事援助サービスを中心に普及啓発活動を実施しました。



広報委員 佐藤 令史

シルバーフェスティバル 2014

～皆さんの笑顔とともに～



10月18日(土曜日)と19日(日曜日)に、『シルバーフェスティバル2014』が開催されました。福岡県下のシルバー人材センターが集結し、地元の特産品や手作り品などの販売を行いました。両日ともに秋晴れの天気にも恵まれて、たくさんの来場者があり、大いに賑わいました。ご参加、ご協力くださった皆様ありがとうございました。



筆耕班

筆耕の仕事をその場で実演しました。筆耕班の会員の皆さんが交代で熨斗袋に筆書きし、販売しました。



徳淵憲子 会員

参加しての感想

受付をしていると、去年来られたお客様がまた来てくださったり、お客様から喜びの声を頂いたりしました。普段の就業では直接お客様にお会いすることがあまりないので、いい機会になりました。

リーフレット配布

会場に訪れた人々にリーフレットを手渡ししながら、シルバー人材センターのPRをしました。



井上洋保 理事 (普及啓発担当)

参加しての感想

リーフレットを直接お客様に手渡し説明をすることで、シルバーの活動をより深く理解していただきました。普及啓発に効果的な機会となり、よかったです。

岡崎幸雄 監事

リーフレットを渡して一人ひとりの顔を見ながらセンターの説明ができ、しっかり PR ができました。フェスティバルはゆっくり説明する時間が持てるいい機会ですね。

シルバーギャラリー

区ごとに分かれて、手作りの作品を販売しました。所狭しと並べられた作品の数々と、販売の皆さんの声かけで、大賑わいでした。今回初めて、食品の販売に挑戦しました。昆布のつくだ煮は午前中に売り切れるほどの人気でした。



参加しての感想

合屋マツエ 会員

昆布の佃煮と銀杏の販売をしました。昆布の佃煮は私の手作りです。試食とレシピも用意し、皆さんから美味しいと言われて嬉しかったです。

徳丸孝子 会員

博多は、昨年再発足して今回は13名で参加しました。自分の作品を買って頂く喜びを感じ、もっと素敵な作品づくりに会員一同で頑張っていきたいです。

シルバー農園

シルバー農園で収穫した、さといもの販売をしました。日曜日のみの販売でしたが、あっという間に完売でした。



参加しての感想

石川昌子 会員

今回はさといものみの販売で、1時間ほどで売り切れました。無農薬なので収穫までは大変ですが、お客様が喜んで買ってくださいるので、これからもがんばります。

7区通信

東

区

ひがしく

「東区秋の交通安全フェスタ2014」開催



9月22日(月)に「秋の交通安全運動」の一環として、東区民の交通安全に対する意識高揚を図るため、東警察署・東区役所・東福岡交通安全協会・東区交通安全推進協議会の主催のもと、福岡工業大学 FIT ホールで「東区秋の交通安全フェスタ2014」が開催されました。

主催者の挨拶の後、福岡県交通安全協会教育班による交通安全寸劇、交通安全グッズ福袋抽選、県警音楽隊・カラーガード隊・福工大吹奏楽団によるコラボ演奏会が行われました。

その後、高齢者交通安全宣言・飲酒運転撲滅CMの放映がありました。

東出張所からも駐輪場就業会員など多数が参加しました。

役員会開催



10月21日(火)10時から出張所会議室において、地域班長30名と職群班長8名及び広田委員長、加藤・山本副委員長の参加で、役員会が開催されました。

広田委員長の挨拶の後、香椎と箱崎Bの地域班長の交代が承認されました。

続いて、26年度9月までの上半期活動状況の報告がありました。会員数は1,243名で前年同月比25名の減少、就業率は64.5%、配分金実績は1億5,160万円で前年同月比676万円増加しているとの報告がありました。

加藤副委員長からは、事故発生状況の報告がありました。9月までの上半期は8件の事故が発生しており、前年同月比7件の増加です。今後は、26年度安全就業スローガン“見逃すなヒヤリで済んだあの経験”を肝に命じて、就業の際には最大限の注意をお願いしますと要請がありました。

また、今後開催される地域懇談会やふれあい日帰りバス旅行、女性会員のつどいなど各種行事への参加依頼もありました。

「ふれあい日帰りバス旅行」開催
～酒蔵見学 柳川のうなぎの
せいろ蒸し料理と川下りの旅～

ふれあい日帰りバス旅行が、11月11日(火)と12日(水)の両日、116名が二班に分かれて参加し、開催されました。

西鉄香椎駅前に8時30分集合し、都市高速、九州自動車道を経由し、柳川市に入りました。

最初に目野酒造で酒蔵見学の後、試飲と買い物をしました。西鉄柳川駅前の「福泉操」で、事前に希望していた「ミニせいろ定食(鰻)」と「かご膳」に分かれて、昼食をとりました。昼食の後、40分間の川下りで船からの柳川の町並みの見学を楽しみました。

帰路は、高橋商店と道の駅「みやま」に立ち

寄り、買物などを楽しみました。午後5時頃、予定時間より早く無事香椎に到着しました。

今回の親睦旅行を企画された幹事さんには大変お世話になり、有難うございました。

女性会員の集い開催



11月21日（金）10時からコミセン和臼の会議室において、広田委員長を始め会員38名の出席で開催されました。

広田委員長の挨拶の後、10月末現在の活動報告が女性分野を中心にありました。

続いて、加藤副委員長から安全就業と事故発生状況について報告がありました。昨年より事故件数が増加しており、事故を起こさないよう注意がありました。

講演では、大塚製薬株の大田原美奈子氏が『バランスのとれた食事・冬場の水分補給』のテーマで、朝食の大事さ、五大栄養素（糖質・脂質・タンパク質・ビタミン・ミネラル）に食物繊維を加えたバランスのよい食事の大切さと風邪・インフルエンザ対策には水分補給が重要との説明がありました。

広報委員 今林 隆雄

博多

区

はかた

板付1・2地域懇談会開催

9月16日（火）板付公民館で地域懇談会が行われました。14名の参加です。

間・山村両班長の挨拶のあと、参加者全員の自己紹介がありました。

就業状況の報告では、博多出張所全体と比較して、板付1・2地域の会員一人あたりの実績はまったく遜色なく、その要因のひとつに「交



通の便・交通費」が挙げられていました。和やかな雰囲気の中での地域懇談会でした。

笹原東駐輪場会議開催



9月18日（木）弥生公民館において、笹原東駐輪場の定例会議がありました。

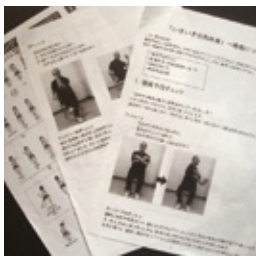
議題の内容は、①就業開始時間は概ね20分前を目安にする ②チェックの重要性 ③A、B両班の互いの重要性については柔軟な対応をする ④原付バイクの白地のナンバープレート（50cc）を確認する ⑤小児用自転車は駐輪場を無償提供する といった事が確認されました。

家事班全体会議開催



9月26日（金）に、家事班全体会議が35名の参加者をもって開催されました。

徳丸家事援助担当の司会で始まり、倉岡委員長の挨拶では、事故への注意とポスティングの活動の提案がありました。また、木室安全担当は「交通安全マナー」の遵守を重ねて指摘しました。



添付のレジュメ



DVDを見ながら「いきいき元気体操」にチャレンジ

「いきいき元気体操」では、腰痛予防のためにレジュメとDVDの上映を参考にしながら、全員で腰回りの筋力、柔軟性をチェックしました。

樋口理事からは、就業のあり方について確認がありました。『福祉サービス』では、「お客様の身体を拭く、排泄時の付き添い」は不可。『家事援助サービス』では、「ペットの世話」は法令違反となる為に不可。『子育て支援サービス』では、「保護者不在時の留守番や鍵預かり」は不可。などといった受注する時の条件について説明がありました。

グループでの意見交換のあとの発表では、「プロの清掃専門業者と比較されてしまう」、「大型のガラス窓・換気扇の清掃が大変」など現場ならではの発言がありました。

最後は『花は咲く』の大合唱で、盛況のうちに終了しました。

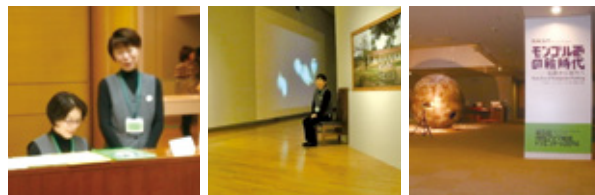
アジア美術館会議開催



10月1日（水）、出張所大会議室でアジア美術館定例会議が行われました。

下司班長の挨拶の後、新しく加わった倉八会員と田中会員の紹介、並びに全員の自己紹介がありました。

今回の主要テーマ「第5回トリエンナーレ展」についての討議がなされました。3年に1度の特別展で、9月6日から11月30日まで開催されます。現代美術の作品に気づかれないお客様



トリエンナーレ展の様子

に優しく案内する事や、学芸員への連絡、閉館前には慌てないなど注意事項についても確認されました。

美術館、美術作品と触れ合える喜びと感謝を感じて就業されていました。

南福岡駅前駐輪場会議開催



10月17日（金）さざんピア博多で、第2回定例会議がありました。委員長、山村公共担当の挨拶の後、討議に入りました。

「のっちゃり券、回数券、一時券の区別が容易にできると良い」「券売機の釣銭のトラブル」などの事項について細かい指摘がなされ、確認されました。

剪定班グリーンスクール開催



11月6日（木）に「スコール雑餉」でグリーンスクールが開催されました。

実施内容は、①造園業者とシルバーの剪定の違い ②脚立、梯子の使い方と安全対策 ③大型バリカンの使い方とメンテナンス、などがミー

ティングで確認されました。その後、カイズカイブキ 50 本、ツゲ 51 本の剪定が、遠藤班長の指導のもと整然と行われました。

8時半から始まって午後2時過ぎにはすっかり綺麗になったシルバーの仕事振りでした。

広報委員 戸川 博文

中央

区 ちゅうおうく

役員会開催



10月24日（金）午前10時から役員会が開催されました。

1. 岩男委員長挨拶

秋晴れの日が多く、遅れていた剪定・除草の作業も順調に進みました。今期も半分が過ぎました。事故ゼロとクレームの半減を目指してスタートしました。事故が1件発生したものの、クレームは随分少なくなりました。これからも目標達成に向けて皆で頑張っていきましょう。

配分金の推移は、9月末までの累計で対前年伸張率109%です。これも会員皆様の就業の成果です。今後も目標に向け、努力していきたいと思っています。

(1) 地域懇談会の進捗状況について

6月12日に小笹地区からスタートした地域懇談会は順調に開催され、春吉公民館、簗子公民館、南当仁公民館で開催が決定しています。残りの当仁校区も11月に開催する予定です。地域班長からの「地域の歴史」「催し市」「お店の紹介」など和やかな話題で始まり、会員の自己紹介では就業先での苦労話や楽しい思い出話もあり、会員の絆を深める懇談会になってきている模様です。

(2) 会員勧誘のお願い

現在、全国的に会員数が減少しています。理由として以下の事が挙げられます。

- 雇用延長で65歳まで働けるようになった
 - 退職後も企業に残るケースが増えた
 - シニアの経験や能力を積極的に活用する企業が増えた
 - 収入が見込めるところに再就職を希望する人が増えた
 - 高齢の親を介護する必要があるケースが増えた
- こうした現状から、月1回の新入会員説明会だけでは会員の拡大は厳しいので、皆さんに友人、知人、配偶者、兄弟など周りの方を勧誘していただいたり、会員募集のチラシを効果的に配布していただきたいです。

(3) 「ワンコインお助け隊」

役員の方や事務補助職員には、発足時に隊員になっていただきました。新しく役員になられた方も隊員登録の協力をお願いします。

2. 安全就業と就業開拓については、それぞれの担当者から配布された資料に従って詳細な説明がありました。
3. 親睦旅行は、11月18・19日に2班に分かれて行き先は日田に決定しました。次回の役員会は、12月22日（月）に開催予定です。

広報委員 井手上 勉

南

区

みなみく

地域懇談会開催 (西高宮・大楠・玉川・塩原校区)



9月9日（火）午後2時から出張所2階大会議室で、平田委員長、的野・丹野両副委員長、

西野就業開拓員ほか地域会員 35 名が参加して、開催されました。開会の挨拶の後、平田委員長より下記について説明がありました。

1. 南出張所の現状

(1) 配分金実績 (26 年 4 月～7 月累計)

全 市 571,028 千円 (前年 548,520 千円)

南出張所 80,932 千円 (前年 77,235 千円)

(2) 会員数 (26 年 8 月現在)

全 市 6,894 人 (前年 6,929 人)

南出張所 1,102 人 (前年 1,090 人)

男性 704 人・女性 398 人

(3) 事故の発生状況 (26 年 7 月現在)

	全 市	南出張所
傷害事故	8 件	2 件
賠償事故	6 件	0 件
自動車事故	6 件	2 件
合 計	20 件	4 件

※全市、南区ともに昨年同月比より増加

2. 連絡事項

○普及啓発活動として、10 月 1 日にリーフレット配布を実施します。(井尻駅前周辺と井尻商店街周辺)

○シルバーフェスティバル 2014 に多数の参加をお願いします。

○健康診断の受診報告書の提出をお願いします。

○互助会行事への参加をお願いします。

・日帰り親睦旅行：11 月 11、12、14 日

・芸能大会 (ふくふくプラザ)：1 月 27 日

3. 出張所からの要望・お願い

○シルバーだよりは必ず目を通してください。本部・南出張所からの情報・連絡・就業先などの情報が得ることができます。

○親睦旅行は、全部の地域懇談会が終了後に場所を決定します。

〈委員長からのお願い〉

○南出張所に対する意見や要望はいつでも受けますので、気軽に出張所へお出かけください。意見交換しあう中で明るい展望が見えてくると思います。

○ワンコインお助け隊は、地域貢献、就業開拓に欠かせません。隊員登録者は現在 133 名ですが 300 名以上は必要です。今年度は 8 月末までに 37 件の依頼がありました。

○南出張所から就業の紹介があった時は、特別の事情がない限り受諾してほしいです。

○地域懇談会は開始時間を午後 2 時にし南出張所で行いました。9 月 26 日までに 7 校区終了しましたが、昨年を大幅に上回り 230 名の参加がありました。校区別に机を配置し、会員の自己紹介や出張所スタッフの紹介などで面識がもてました。また校区別にスタッフが司会をしました。「遠方から参加するので駐車場の確保ができないか」「就業開拓に対する活動の強化をお願いしたい」などのご意見もいただきました。

26 年度日帰り親睦旅行 ～中津城と竹瓦路地裏を散策～



日帰り親睦旅行は、11 月 11 日 (火) 12 日 (水) 14 日 (金) の 3 日間、3 班に分かれて行われました。参加者総数は 119 名でした。今年も旅行委員 8 名で数回審議を重ね、行き先は会員の声を反映した結果、黒田官兵衛ゆかりの地である大分県の中津城に決定しました。

初日は絶好の旅行日和でした。バスは九州自動車道を快走し、瞬く間に古賀市、北九州市を通過しました。車内から眺めると、北九州工業地帯と呼ばれていた頃の面影はなく寂寥感せきりょうかんが漂っている景色です。思い巡らしている間に、心待ちしていた中津城 (1587 年黒田官兵衛が築城) に到着しました。平日にもかかわらず駐車場は満車で、見学時間は 1 時間でした。五層の天守閣までの階段は上り下りで混雑していました。天守閣から眺める城下町一帯は絶景で、静かなたたずまいを見ると歴史の匂いが伝わってきます。すぐ傍の黒田官兵衛資料館 (平成 26 年 1 月完成) は、官兵衛が豊前国ぶぜんのかくにを統治していた時期 (1587～1600) を深く紹介する施設です。館内は、地元豪族「宇都宮氏」との関わりや城攻めなど戦いのパネル、大河ドラマの軍配など



の小道具を展示してあり、当時の様子を映像でドラマ化したコーナーもありました。

官兵衛は、豊臣秀吉から九州平定の論功行賞ろんこうこうしょう(=手柄)として、1587年に豊前6郡12万石の領主となり、翌年中津城を築城。1600年、息子長政に与えられた筑前(現福岡市)の領地に移り住むまでの13年間、一国の領主でありながら秀吉の軍事参謀として活躍した偉大な人物です。1604年京都にて死去(享年59歳)、葬儀は博多の教会で行われました。墓は博多の崇福寺にあります。黒田官兵衛は、戦国の世を知略を武器に生き抜いた天才軍師と崇められています。

待望の昼食・入浴は、創業80年の老舗「別府花菱ホテル」です。客室からは別府湾を望めます。大宴会場ではすでに膳立てできていました。おしながきを横にし、大分県の山海の珍味したつみに舌鼓を打っていました。食後はカラオケ、ダンスに興じ楽しいひとときです。なかでもカラオケには希望者が殺到し、瞬く間に1時間半が過ぎました。「多くの人がカラオケを楽しんでいる姿はいいですね」と喜んでいました。

添乗員の案内で、竹瓦路地裏を散策しました。ここは別府温泉を代表する下町の湯で有名です。市営温泉の中でも歴史が古く、唐破風とうはふ(=中国から伝わったもので、屋根の切棟の両下して山形になっているところ)づくりの重厚な建物は別府のシンボルとなっています。

最後に、土産品が山積された「海の駅べっふ海鮮市場」で買い物をしました。お土産を持って乗車する会員は満面の笑みです。

旅行委員からの大分県のクイズと心ばかりのプレゼントはいかがでしたか。一番嬉しかったことは、全員が事故もなく無事に戻れたことです。来秋また元気でお会いしましょう。

広報委員 高濱 一郎

城南

区

じょうなんく

福祉・家事援助班全体会議開催



9月22日(月)午前10時から城南市民センターで、福祉・家事援助班全体会議が開催されました。会議には41名が参加し、本部からは樋口(福祉・家事援助担当)、松尾(安全・適正就業担当)、原(剪定・刈払除草担当)の各理事が出席されました。

永富委員長は、「城南区は家事援助と刈払除草・剪定のウエートが高く、家事援助の就業をされている皆さん方の役割はたいへん大きいです。この機会を利用して、日々の就業で抱えている問題や悩みを出していただき、解決していきましょう」と挨拶されました。

引き続き、樋口理事の挨拶のあと、班長の福吉洋子会員とリーダーの東キヌエ会員の紹介がありました。

「自転車事故“ゼロ宣言”」のDVD鑑賞のあと、高浪安全・適正就業担当が家事援助班の事故事例を報告し、注意喚起を行いました。

その後行われたグループ討議は3班に分かれて、それぞれ福吉班長、東リーダー、徳永副委員長の司会で進められました。就業での不安や努力、そして楽しみなどの意見交換ができ、参加した会員からは「皆の頑張りが実感できた」「意見交換でアドバイスを受け、気が楽になった」「参加して良かった」など多くの意見が寄せられました。

《グループ討議で寄せられた主な質問》

【質問1】「福祉・家事援助」とあるが、福祉と家事援助に区別があるのですか？

【回答】 区別はありません。就業先が高齢者のところがあるので「福祉」としています。

【質問2】 就業時間についてですが、

- ①契約時間通りに終わらない場合はどうすればいいのでしょうか。
- ②時間より早めに行って早く帰ってもいいのでしょうか？

【回答】 ①就業時間通りに終わらない場合は、決められた時間で就業した箇所をお客様に伝え、上手に切り上げてください。

常に時間内で終わらないのであれば、出張所の担当者に連絡してください。是正する必要があります。

- ②就業は決められた時間内で行うので、早く行っても早く帰ることはできません。

【質問3】 就業先への距離が遠く、往復で30分以上かかり、冬は暗くなるのも早いので心配です。

【回答】 基本的には、就業先は会員の住居に近いところとしています。やむを得ずそのような状態になって無理のようであれば遠慮なく出張所に申し出てください。

【質問4】 就業先が一人暮らしの高齢者の場合、「安否確認」をする必要があるのでは…？

【回答】 シルバーの就業で「安否確認」は致しません。就業日に「何か」あれば必ず出張所に連絡してください。出張所から関係者に対応致します。

※就業は「決められた時間・決められた内容」が基本です。

秋の風情ただよう『唐津路』をゆく

恒例の親睦旅行が、11月11日（火）と12日（水）2班に分かれて行われました。参加者は総勢82名でした。

コースは、秋の風情ただよう“唐津路”です。バスは一路糸島市の白糸酒造を目指しました。創業160周年、昔ながらのハネ木絞りで手間をかけた清酒作りを行う「白糸酒蔵」では、甘酒や清酒の試飲をし、清酒を製造している蔵を見学しました。

次に向かったのは、唐津市の旧高取邸です。旧高取邸は、炭鉱で財をなした高取伊好（たかとりこれよし）の旧宅で、平成12年に国の重要文化財に指定されています。見どころは、座



敷に仕込まれた能舞台や茶室で、昔、大隈重信も訪れたという明治期の風情ただよう建物を満喫しました。

唐津神社で記念写真を撮り、すぐ隣の長崎荘で昼食。三々五々、お刺身や鯛のあら炊きなどをお腹いっぱい味わいながら、会員の皆さんの語らいが続きました。

「唐津くんち（11月3～4日）」の余韻を感じながら、帰路はJA糸島が経営する「伊都菜彩」に立ち寄り、買い物を楽しみました。

山々の紅葉もちょうどいい時期になっており、おいしい食事と季節感を味わうことができました。幹事の皆さん御苦労さまでした。来秋も楽しみにしています。

＜“元気” 会員さん訪問＞

『会員になって生きがいを得ました！』

今回は、「シルバー会員になったおかげで人生の“張り”と“生きがい”を得ることができました」とお話になる福山喜久枝会員をお訪ねしました。

◆会員番号4ケタの大ベテラン

福山さんは平成5年に入会された大ベテラン。センターに入会されたきっかけは、趣味の『切り絵』の同人で、既に会員だった西区のお友達から「あなたもやってみたら」と誘われたことでした。「その頃、女性は55歳で入会できました。会員番号は東が1000番台から、博多が2000番台から、城南は5000番台からでした。だから私の会員番号は4ケタなのです」と、当時を振り返られました。

◆初就業は一般企業でした！

初めての就業は、一般企業の経理事務でした。その会社でしっかりやらせていただき、それから出張所のお手伝いをしました。その後、平成14年に専任理事に推薦いただき、広報や互助会の担当をいたしました。

広報担当の数年間楽しかったですよ。

見てください。その頃の『シルバーだより』の表紙の切り絵は私の作品です。(写真参照)



◆いまの就業は？

現在は子育て支援の就業をしています。担当しているご家庭は双子の女の子さんで、就業が終わって帰るとき甘えられて困ることもあります。主に宿題をみてあげる仕事で“脳トレ”になって良いですよ。孫の世話ではないけれど、子供さんとの一つ一つの会話で、若い頃の子育ての感覚を思い出して若返ります。

◆就業のない日は何をされていますか？

「切り絵」同好会で教えたり教えられたり、楽しい活動をしています。もう一つは、特別養護老人ホーム飛鳥でお年寄りの方のお話し相手をする「傾聴ボランティア」をえています。

◆会員の皆様へ一言

人との関わりを多く持つことが私の元気の源です。皆さんもセンターをもっともっと利用し、“楽しさ”を得るきっかけづくりをされたいと思います。就業がなくても「いやいや」と引きこもらず、互助会のイベントや趣味の会に「参加」して“楽しさ”を得ることです。その意味で、私は“生きがい”を与えていただいたシルバー人材センターに本当に感謝しています。



福山さん(左)友人と、『きり絵同好会』作品展会場にて。

広報委員 橋本 修一

早良

区

さわらく

「女性会員の集い」開催



9月19日(金)の午後に、26年度「女性会員の集い」が、早良市民センターで女性会員90名が参加して、小早川副委員長の司会進行で開催されました。

まず、本部から出席の樋口理事と岡崎監事の紹介がありました。

次に、五島委員長から出張所の概況説明とワンコインお助け隊事業の進捗状況について説明がありました。

続いて、樋口理事から「女性会員の拡大に努めていますので、『生き生き仲間作り』のパンフレットを使って勧誘して頂きたい」との要請がありました。

最後に、加藤安全担当から「健康が大切で、これが就業時の安全に繋がります」との話がありました。又、11月7日(金)に開催する「安全大会」の案内がありました。

講演会『笑いをもたらす健康効果』開催



9月19日(金)に開催した「女性会員の集い」の特別講演として『笑いをもたらす健康効果』と題しての講演会が開催されました。講師は健康運動指導士の佐藤昌久先生です。佐藤先生は、現在「笑いヨガ」を普及するため幅広く活動しています。

この「笑いヨガ」とは、笑いの体操とヨガの呼吸法により、脳とカラダの老化を防ぐことを目的とするものです。五感を刺激して、脳とカ

ラダの血流を増加させて認知機能を向上させることにより、脳とカラダの老化を防止します。「笑い」は、体操と同様に健康に効果があることはよく言われることです。「笑い」は本当の笑いも、体操としての笑いも同じ効果があります。この「笑いヨガ」は、簡単なヨガと強制的な笑いを組み合わせたものです。

女性会員は、佐藤先生の指導で①手拍子と一緒に「ホホ ハハハ イエイ」の掛け声を発して②ヨガ体操をしながら強制的に笑い③最後に深呼吸するを繰り返しました。会場は手拍子と掛け声で満ち溢れました。参加者はカラダもココロも温かくなり、有意義な1時間となりました。

福祉・家事援助サービス班全体会議開催



9月19日（金）の午後、早良市民センターで福祉・家事援助サービス班の全体会議が、本部から樋口理事を迎えて班員67名が参加して、坂田班長の司会進行で開催されました。例年1月に開催している全体会議は、早良市民センターの改修工事が予定されているため、今年度は前倒しの開催となりました。

まず、坂田班長からリーダー3名が紹介されました。

次に、樋口理事からはリーフレット『子育て支援 家事・福祉サービスのご案内』で、仕事の内容を確認した後に次のような話がありました。

「本部ではいろいろな講習会を用意しています。スキルアップのためにも積極的に参加してください。賠償事故を防ぐためにも、慎重に且つ無理をせずに就業をお願いします。福祉サービスは、平成29年度までに要支援1と2が市町村に移管されるため需要が増えそうです。女性会員を増やすために宣伝をお願いします」。

続いて、就業時の問題点・体験等を話し合いました。

最後に和田家事援助担当から事務連絡として、

①「就業報告書」は速やかに提出すること②「健康診断書」を提出していただきたいとの要請がありました。

地域班長会開催



10月22日（水）午前10時から出張所会議室で、五島委員長・井上理事・小早川副委員長と地域班長20名が出席して、波多江副委員長の司会進行で地域班長会が開催されました。

まず、波多江副委員長から3地区の班長交代の報告があり、新班長の挨拶がありました。

続いて、五島委員長から次のような話がありました。4～9月の配分金は、前年比105.5%となり順調に推移しています。市全体では104.9%でした。会員数は1,044名で、市全体では6,878名となっています。女性会員の比率は31.5%で、市全体の35.4%を下回っています。月平均の就業率は55.9%で、市全体の54.7%を上回っています。特に女性の就業率は58.8%と高く、市全体の55.4%を大きく上回っています。

4～9月の出張所での事故は、3件で前年比2件減少していますが、市全体では賠償事故・自動車事故が増えて30件となり、前年比4件増となっています。

4～9月の「ワンコインお助け隊事業」は市全体で1,365件の要請があり、早良出張所は375件で全体の28%です。登録者は215名いますが実働人数は64名で、地区により要請件数に偏りがあります。要請内容はゴミ出し・水遣り・買物等です。

次に、井上理事から担当の普及啓発・就業開拓の事業状況について説明がありました。

最後に、「普及啓発キャンペーン」用の配布セットを持ち、氣勢を揚げて出陣して行きました。

広報委員 高橋 勉

鹿児島市シルバー人材センターが西出張所を視察



10月24日（金）に、鹿児島市シルバー人材センターの9名の方が西出張所を視察されました。

はじめに城委員長から西出張所の事業概要の説明があり、熱心な質疑応答がありました。その後、福岡市から受託している「子どもプラザとことこ」と「姪浜駅駐輪場」を視察されました。

「子どもプラザとことこ」は、乳幼児と保護者がいつでも気軽に訪れ、自由に遊んだり交流したりできる場所です。9名の方は2班に分かれて施設内を見学し、就業会員にいろいろと話を聞かれています。

「姪浜駅駐輪場」では、福岡市最大ということもあり、自転車の数の多さと施設の大きさ、会員の就業している姿に感心されていました。

西出張所の普及啓発活動報告

・市営福重団地で普及啓発活動



10月4日（土）に、市営福重団地で普及啓発活動を実施しました。同団地は室見川の西側にあり、900世帯が入居する大型団地です。また、65歳以上の世帯が3分の2を占めていて、高齢化の波がここにも押し寄せている状況です。

そんな中、福重団地の自治会長から「隣接するディスカウントストアが9月20日で閉店す

ることになり、日々の買い物が不便になりました。いわゆる『買い物難民』救済の策はないでしょうか」と相談がありました。そこで「ワンコインお助け隊」事業やシルバーの事業内容を説明したところ、是非お願いしたいということになりました。

10月の普及啓発活動の一環として、福重団地全世帯を対象にリーフレットとウェットティッシュを、出張所から6名と地域班長1名で各戸にポストインしました。開始前に、自治会長より事前にアナウンスして頂いたこともあり、住民の方々から暖かい励ましの言葉をいただく場面もありました。

・「子育てフェスタ2014」で普及啓発活動

10月21日（火）に、西区保健福祉センター主催の「子育てフェスタ2014」が西市民センターで開催されました。これは西区在住の親子の交流を深めるために18年前から行われているイベントです。当日は子どもさんを連れた大勢のお母さんたちで賑わっていました。

西出張所では、会場のお母さんたちに「子育て支援と家事・福祉サービスのご案内」のリーフレットを配布しました。また、小島会員はボランティアで参加されていて、玄関でお母さんや子どもたちの案内のお世話をしていました。

日帰りバス親睦旅行を実施



11月12日（水）に、恒例の日帰りバス親睦旅行を実施しました。当日は雨が心配されましたが、会員の皆さんの日ごろの良い行いの結果か、たいした雨も降らず、楽しい親睦旅行になりました。今回は「鹿児島酒造と嬉野温泉満喫ツアー」です。参加者は40名で、就業先の仲間や一人で来られた方など様々でした。

行程は、西出張所から出発し祐徳稲荷神社参

拜のあと昼食、和多屋別荘温泉入浴、鹿島酒造の蔵めぐりでした。紅葉には少し早いようでしたが、昼食ではアルコールを飲まれる方もいて、大いに盛り上がっていました。温泉では、お風呂や足湯に入り、日ごろの疲れが癒されました。酒蔵めぐりでは、何杯も試飲された方もいました。

西出張所の皆さんのお世話もあり、集合時間に遅れる人も少なく、無事に初冬の親睦旅行を終えました。

ヤフオクドーム立哨班が 接客調査で満点を獲得



ヤフオクドームで働く人を対象にした接客調査で、ドーム立哨班の12名

の皆さんが、200点満点を獲得するという快挙をあげました。

立哨班の仕事は、自転車やバイクの受付整理を行う駐輪班とドームに出入りする関係者をチェックする受付班に分かれています。どちらの班にもドームで行われる野球やコンサートなどのイベントに来られるお客様への暖かい笑顔と丁寧な対応が求められます。

お客様からは「夏の暑い日や雨風の強い日でもてきばきとされています。笑顔と元気な対応で、スムーズに駐輪できました。また利用したいです」とお褒めの言葉を頂き、このようなことが今回の好結果に繋がったと思われます。

相浦班長は「いろいろ指摘されたことを全員で改善してきた結果で、今後も改善に努めていきたいと思います。班員も今回のことは一層の励みになったと思います」と話されていました。

広報委員 佐藤 令史

西区

にしく

就業先情報



能古島が間近に見える、博多湾に面した広い愛宕浜中央公園で統制のとれた除草作業をしているのは、西出張所の21名の刈払除草班の皆さんです。



福岡市緑のまちづくり協会から受託している西区内の公園や室見川緑地など15ヶ所を、5月から10月にかけて春・夏・秋の年3回、刈払除草作業を実施しています。

酒見隆之班長に話を伺いました。「刈払機を使っただけの作業なので、安全の徹底が一番です。歩行者や運動をされている方に配慮すること、木や器具などの損傷防止には、特に注意を払っています。安全を監視する人、安全ネットを張る人、刈払機を動かす人、刈った草を集める人など、それぞれの作業を全員がチームワークよく分担して行い、飛び石の防止など安全作業の徹底を図っています。

愛宕浜中央公園刈払除草



また屋外なので、猛暑や雨風の中で就業することもあります。夏の時期の作業は特に大変です。高齢の会員も多いため疲



れの状況をみながら、適時に水分を補給したり日陰で休憩を取るなど、会員の健康管理にも注意を払っています。就業会員には作業が終わっても、家に着くまで交通事故に注意してもらっています」と、安全管理の徹底について話されました。

城委員長からは、「いつもがんばってもらっています。残念ながら1件の飛び石事故がありました。今後はさらに安全の徹底に取り組み、またがんばって頂きたいと思います」と今年度の作業への労いの言葉がありました。

広報委員 佐藤 令史

平成26年度会議開催状況(10月~11月)

●理事会

回	開催月日	議案
8	10月22日(水)	・シルバー人材センター正会員の入会 ・平成26年度収支補正予算(案)
9	11月26日(水)	・シルバー人材センター正会員の入会

●総務部会(委員長理事の会議)

回	開催月日	議案
7	10月15日(水)	・未収金対策 ・シルバーフェスティバル2014
8	11月19日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・未収金対策 ・平成27年度各課の事業計画(案) ・平成27年度予算編成スケジュール ・就業開拓のあり方(案) ・配分金見積基準の改定(案) <ul style="list-style-type: none"> ・夜間就業の実施(案) ・諸謝金について ・互助会費について ・出張所事務補助職員の取扱い

●業務部会(専任担当理事の会議)

回	開催月日	議案
7	10月17日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度予算編成スケジュール ・剪定作業に関する安全就業対策 <ul style="list-style-type: none"> ・シルバーフェスティバル2014 ・業務部会の取り組み状況
8	11月21日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度各課の事業計画(案) ・平成27年度予算編成スケジュール ・就業開拓のあり方(案) <ul style="list-style-type: none"> ・配分金見積基準の改定(案) ・夜間就業の実施(案) ・業務部会の取り組み状況

●合同部会(総務部会と業務部会の合同会議)

回	開催月日	議案
6	10月22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度第7回「総務部会」及び第7回「業務部会」の報告 ・平成26年度9月「事業実績」
7	11月26日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度第8回「総務部会」及び第8回「業務部会」の報告 ・平成26年度10月「事業実績」

●安全・適正就業対策委員会

回	開催月日	議案
7	10月15日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・事故状況 ・損害賠償事故に関する審議 ・平成26年度上半期健康診断受診状況
8	11月19日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・事故状況 ・損害賠償事故に関する審議 <ul style="list-style-type: none"> ・安全就業表彰制度(案) ・自動車運転時の2人就業体制

平成 26 年度 実績報告

平成 26 年 10 月末現在

- 会員数 6,894 名
- 就業者数 4,513 名
- 男性 4,459 名
- 就業率 65.4%
- 女性 2,435 名
- 事業収入 12 億 6,416 万円

平成 26 年度 事故発生状況

平成 26 年 10 月末現在

- 傷害事故 11 件（前年同期 11 件 前年比 ± 0 件）
- 賠償事故 10 件（前年同期 13 件 前年比 - 3 件）
- 自動車事故 12 件（前年同期 7 件 前年比 + 5 件）
- 累計 33 件（前年同期 31 件 前年比 + 2 件）

■傷害事故（9 月 1 日～ 10 月 31 日）

日付	就業中 途上	性別	年齢	仕事内容	事故の状況	傷害の程度		
						入院	通院	手術
9/3	就業中	男	65	剪定	処分場で剪定残滓の処理中、軽トラック荷台から転落。	○		
9/11	就業中	男	74	刈払 (まち協)	刈払機で作業中、刈払機の刃が後ろにいた会員の左脚に接触。	○		○
9/13	就業中	男	66	剪定	三脚から枝に足を乗せた時、左手で掴んだ枝が折れて転落。	○		
9/30	就業 途上	女	77	屋内清掃	階段を下りた際、階段の縁でつまずき踊り場に転落。	○		○
10/30	就業 途上	男	71	剪定	帰宅中、下り坂でバイクがバウンドしハンドルを取られ転倒。	○		○

■損害賠償事故（9 月 1 日～ 10 月 31 日）

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
9/22	女	73	屋内清掃	男性トイレ清掃中、手が滑って小便器の排水着脱トラップを床に落とし、一部を破損。

■自動車事故（9 月 1 日～ 10 月 31 日）

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
9/8	男	68	その他	出庫の際、左側前方の鉄製パイプに車両左側バンパーが接触。
9/19	男	72	刈払 (まち協)	2 トンダンプ運転中に交差点を右折した際、右側から来た自転車と衝突。
9/29	男	70	刈払 (まち協)	公園内に入るため左折した際、車止めポールに車両左側が接触。
10/2	男	69	自転車 撤去	2 トントラックで走行中、駐車中の軽トラックの後部にサイドミラーが接触。
10/2	男	70	剪定	残滓を軽トラック荷台に積込中、太枝を運転席後方の窓ガラスに当て破損。

シリーズ

わが町の歴史散歩

41 城南区編

『太閤道』跡を歩く

太閤道はどこ？

城南区には、豊臣秀吉や淀君が博多と肥前・名護屋城との往復に通ったとされる“太閤道”伝説がいまも残っています。博多の町を復興した秀吉ゆかりの太閤道とは一体何か？そして、城南区に残る太閤道はどこか？16世紀末の歴史を感じながら太閤道を歩いてみませんか。

福岡が歴史の大舞台になった時代は幾多もありますが、この一年、テレビドラマ『軍師官兵衛』によって博多が目されました。

ご承知の通り、秀吉はこの時代にいく度

九州に下向し「太閤町割り」を行い、戦乱の世で荒れ果てた博多の町を復興しました。

郷土史家・牛嶋英俊氏による

と、「九州の太閤道は

前後ふたつの時期があり、

その道筋は3路線ある」とのこと。

第1路は、天正15年の島津義久との戦で、小倉⇒秋月⇒高良山⇒熊本⇒薩摩川内。帰路は筑後から大宰府⇒博多へ凱旋した時です。第2路は、文禄の役の時肥前国の名護屋城に出陣した時。この時二度九州を往来しています。最初は、洞海湾⇒宗像⇒博多⇒唐津⇒名護屋城という北路を通りました。第3路は、母危篤の報で急きょ帰阪。再度、九州へ下向した時は、博多⇒佐賀⇒多久⇒名護屋城と南路を通ったといわれています。

では、現在、城南区に残る太閤道はどこでしょうか？その道を巡ります。

福岡市の中心部から赤坂3丁目付近を経て、現在の国道202号線、護国神社から六本松交差点を経て別府橋で樋井川を渡ります。当時は「草ヶ江の渡し」と云われていたそうです。

そして、「中村大学前」交差点のすぐ手前、別府交番裏へと左に分岐し西に向かいます。この交差点を大学側に渡り、すぐを左回りに細い道に入ります。

この辺りが“太閤道”の雰囲気の色濃く残っている一帯です。大学校舎を北手に見ながら、当時の道幅と思われる道路が一直線で西に向かって伸びています。今では静かな住宅街ですが、江戸時代に唐津街道が整備されるまでは、この道が北部九州の東西を結ぶ幹線の“街道”だったのでしょうか。

秀吉は大軍を率い、高台から遠く能古島や玄海島を望みながら、朝鮮へ向かう多数の船団を眺めたのではないのでしょうか。道は城南中学校前を通り、末永文化センター横の緑地を超え、荒江逢坂信号で早良街道に交差します。ここまでが城南区です。

太閤道はこの先、荒江逢坂⇒原⇒小田部⇒姪浜⇒生松原と西へ西へと肥前・名護屋城につながっていました。

道すがら、420年前の別府・田島・七隈付近の丘陵地から、博多湾がどのように眺望できただろうか…と思いを巡らせながらお歩きください。

広報委員 橋本 修一

※ 参考資料：牛嶋英俊著「太閤道伝説を歩く」（西日本文化 No.377号）



「芸能大会」開催のご案内

恒例となりました互助会主催の新春芸能大会を、平成27年1月27日(火)に開催いたします。観客の入場は無料です！ご来場をお待ちしています。

- 会場** ふくふくプラザ（福岡市市民福祉プラザ）
福岡市中央区荒戸3丁目3番39号
- 日程** 平成27年1月27日（火）
- 時間** 開場9時 開演 10時から終演 15時予定
(昼食は各自ご用意ください。)
- 料金** 入場無料



アクセス

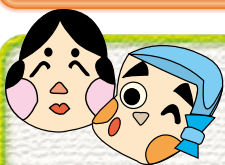


公共交通機関利用の場合

- 福岡市営地下鉄「唐人町」駅下車
4番出口から徒歩約7分
- 西鉄バス「黒門」バス停下車 徒歩約5分
「福大若葉高校前」バス停下車すぐ

車でお越しの場合

- 近隣のコインパーキングをご利用ください。



「芸能大会」出演者募集

平成27年1月27日(火)に開催する「芸能大会」に、出演される方を募集いたします。

- 参加費** **1,000円** (弁当・保険料込)
※当日、徴収いたします。

- 参加申込締切** 平成27年1月15日（木）

- 参加申込方法** 会員番号・氏名・住所・年齢・性別・電話番号・出演演目をご記入の上ハガキ又はファックスにて各出張所互助会業務委員宛にお申込みください。



料理講習会報告

11月20日(木)
ふくふくプラザ5階
料理実習室



おせちと言え
ばユネスコ無形
文化遺産にも登
録された和食の
代表選手です。

今回は突然の
来客にも盛り付
けるだけで出せ

る「牛すね肉を竹の皮で包んで90分煮込んだ酢肉」「やり烏賊を筒抜きにして食材を詰め込んだ烏賊宝詰」「冬瓜をミキサーにかけて本葛粉を混ぜた冬瓜豆腐」と「海老のつみれ汁」デザートには「赤・白ワインで出来たワイン寒」の5品。

各出張所から参加された会員の奮闘の結果、5品を盛り込んだ祝いの膳は出来上がりました。

食事は6テーブルに6人の36人で盛り上がり楽しいイベントに成りました。

前互助会代表幹事の荒木さんに大変お世話になりました。

中央区互助会業務委員 首藤 時男



☆レシピ通りに出来上がりました(的野会員)

☆料理の楽しさが判りました(山崎会員)

☆今回を参考にして正月是非作ってみます(小代会員)

☆料理の味付けが参考にになり毎回参加しています(榎嶋会員)

互助会

サークル活動の紹介

西出張所

なかよしカラオケサークル

代表 瀧川 秀一

結成13年を迎える「なかよしカラオケサークル」は、現在は男性3名・女性18名です。

毎月第1・3土曜日の午前10時から11時半まで西出張所大会議室で、歌謡曲、演歌、童謡(赤とんぼ・春の小川)、ジャズ等広範囲なジャンルを取り入れながら一曲を2ヶ月半のレッスンでマスターしています。

同クラブは、ストレス解消、友達作り、更には地域交流にも力を入れており、シルバーの啓発活動を兼ねて西区内の老健施設や病院を訪問しています。リクエストに応じて懐かしい童謡を歌うと、時には涙を流して感動される方もいて、メンバーが逆に慰められるといった場面もしばしばあります。正に生きがいサークルです。

メンバーになるには、年齢制限はもちろん、素人玄人、男女は問わず自由参加です。現在会員大募集中で、特に男性会員は大歓迎です。



会員のひろば

童心輝く竹トンボ作り名人



1000本以上の竹トンボを作って子どもたちを楽しませてきた竹トンボ名人の濱本さん

作り方は独特。まず、羽根の部分は竹を縦150センチ、横2センチほどの細長い板状に切りそろえ、半年間乾かす。乾燥後、普通は羽根の長さに合わせて切るのだが、濱本さんは、ナイフで羽根の形に削り、完全には切り落とさずに、両端が残ったまままで残す。細かい部分まで削りやすく、微調整がしやすいという。



原の濱本さん定年後に1000本飛ばすのも達人福岡市早良区原の濱本政弘さん(71)は、1000本以上の竹トンボを作った名人。子どもたちに竹トンボの作り方や飛ばし方を教えている。65歳で定年退職。趣味を求め、公民館の手工とカラオケのサークルに入った。サークル仲間から竹トンボ作りを誘われて始めた。

子どもに自然の大切さ教える



濱本さんが作った大小様々な竹トンボ

軸の部分の竹ひごも竹を削って作る。羽根と軸は垂直に取り付けるのがポイントで、羽根と軸の長さの比は1対1.5がよく飛ぶ。羽根の左右の重さが均等であれば、長さが違っても飛ぶことも分かった。

腰を落として体全体で飛ばすのがコツ。13歳以上の高さまで飛ばすことができ、博多区の商店街でアーケードの天井にぶつかって落ちてきたこともある。

福岡市水道局と共同で森林の保護を行う「水源林ボランティア」の会に入り月に数回、早良区の曲淵ダムや東区の長谷ダム周辺の竹林を伐採し整備する活動に参加。同会が行うイベントで、子どもたちに竹トンボ作りと自然の大切さを教えている。

子どもたちは横に飛ばしての当てるような遊びや、羽根に色を塗って色鮮やかに仕上げたりするなど発想が豊かだ。「孫と一緒に作りたい」と大人も教わりに来る。竹トンボのほか、竹笛やどんぐりのコマも子どもたちに好評だ。

依頼があるとき、講習を行う問い合わせは濱本さんへ(090-3333-5422)へ。

原の濱本さん定年後に1000本飛ばすのも達人

早良出張所 濱本政弘会員

“竹トンボ作りの名人”として、8月23日付読売新聞に掲載されました。これからも子どもたちに竹トンボ作りと自然の大切さを伝えてください。



“寿福越年”

山あり谷ありの50年でした。オリンピックを2回も日本でみられるなんて「スゴイ」二人の子に恵まれ今は孫三人も居ります。まさに人生ここに幸ありの金婚式を迎える事ができました。

博多出張所 三浦秀治会員



ひ と こ と コ ラ ム

パソコン教室(旧同好会)へ入会して

南出張所 高濱 一郎 会員

南出張所では、パソコン同好会に替わり今年1月に「パソコン教室」が発足しました。個人に合った指導と講義による全体指導が行われています。指導者4名と受講者は現在14名で、教室は仲むつまじく和やかな様子です。

2年ほど前パソコンができない私は、南出張所のパソコン同好会に6か月コースで入会しました。



シルバーだよりの原稿書きは下書きし校正後に清書するという大変な作業で、さらにホームページの作成も加担されたため、ますます執筆作業のスピード化が求められたからです。「現役の頃なぜパソコンの操作を学ばなかったのか」と反省と後悔もありましたし、小学生の孫がパソコンの手引書も読めないのに見様見まねで指を動かす様子にもショックを受けました。

喜寿を迎えようとする私は、「人よりも物覚えが悪いので足手まといになり、途中で挫折したらどうしよう」と不安が募りました。しかし何回も見学を重ね、まずは恥や外聞を捨ててパソコンに挑戦しようと決心しました。

わずか6か月でシルバーだよりの文章作成と文章構成ができるようになりました。これからの目標は、新しいパソコンを購入して、エクセルで表作成に挑戦し、年賀状作成にも挑戦したいです。ご指導いただいた皆様に対して感謝の念とお礼を申し上げます。

初めてのみなさんも勇気を持ってパソコン教室へ入会されませんか。

ペットの写真大募集



「会員のひろば」で、
あなたのペットを紹介しませんか？

犬、猫、魚、鳥、虫、小動物などなど。

かわいい写真や面白い写真など、
自慢の一枚を送ってください。
なお、写真は返却いたしません。

〒812-0044 博多区千代1丁目21-16
福岡市シルバー人材センター本部
「シルバーだより」係

※本部もしくは出張所に持参いただいても可。



会員のひろばに掲載された方には、謝礼を進呈いたします。どしどしご応募ください！

配分金にかかわる確定申告について

シルバー人材センターから支払われる配分金は、所得税法上では「雑所得」として取り扱われます。従って、次に該当する場合、確定申告の必要がありますので、ご注意ください。

「雑所得控除」＝「必要経費等の控除」就業の際の交通費等は、この「必要経費等の控除」に含まれる。

収入が配分金だけの場合 1年間の配分金合計が103万円を超える場合

所得税額＝(配分金－雑所得控除 65万円－基礎控除 38万円)×所得税率

配分金の他に、公的年金収入がある場合

所得税額＝{(配分金－雑所得控除 65万円)＋(公的年金等－公的年金等控除額)－基礎控除 38万円－その他の所得控除}×所得税率

公的年金等控除額

65歳未満の場合

公的年金等の収入金額	公的年金等の控除額
130万円未満	70万円
130万円以上～410万円未満	年金収入×0.25＋37.5万円
410万円以上～770万円未満	年金収入×0.15＋78.5万円
770万円以上	年金収入×0.05＋155.5万円

65歳以上の場合

公的年金等の収入金額	公的年金等の控除額
330万円未満	120万円
330万円以上～410万円未満	年金収入×0.25＋37.5万円
410万円以上～770万円未満	年金収入×0.15＋78.5万円
770万円以上	年金収入×0.05＋155.5万円

その他の所得控除

扶養控除額＝
被扶養者1人あたりの控除額×扶養人数

◎年金所得者に係る確定申告不要制度について

公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税の確定申告をする必要はありません。

(注1) この場合であっても、所得税の還付を受けるための確定申告書を提出することができます。

(注2) 所得税の確定申告が必要な場合があります。住民税の申告が必要な場合があります。住民税に関する詳しいことはお住まいの市区町村におたずねください。

被扶養者1人あたりの控除額

区分		控除額	内容
控除対象配偶者	一般：70歳未満	通常 38万円	配偶者控除
	老人：70歳以上	通常 48万円	老人配偶者控除
扶養親族	一般：16歳以上で「特定・老人」に該当しない人	通常 38万円	扶養控除
	特定：19～22歳	通常 63万円	割増扶養控除
	老人：70歳以上	通常（一般）	48万円
通常（同居）		58万円	老人扶養控除＋老親控除（10万円）

配分金等の個人情報の取り扱いについて

配分金等の個人情報は、個人情報保護法第16条・第23条により、国等の機関（税務署や市町村等）から情報の開示を求められた場合は、情報提供に応じる可能性がありますので、ご了承ください。

配分金収入、公的年金収入以外に収入がある方は、事例の取扱いとは異なります。詳細につきましては、最寄りの税務署にご相談ください。

※配分金支払証明書と会議出席等の源泉徴収票は、それぞれ平成27年1月末頃に発送いたします。

編集後記

シルバーだよりの編集に携わるようになって、一年を迎えようとしています。広報委員の話があったときに、パソコンやデジカメを十分に使いこなさきれないのに引き受けて良いのか迷いましたが、平成26年のカレンダーの1月の標語に「苦手な事に立ち向かう勇気が新たな人生を切り開く力となる」という言葉があり、これを肝に命じて広報委員を引き受ける事にしました。一年を経過しようとしています。確かに、広報の取材を通して、いろいろな体験をすることができ、新たな人生が始まっています。

70歳の手習いで、まだまだシルバーだよりの編集には悪戦苦闘している状態ですが、皆様のご協力・ご指導をいただきながら、より良いシルバーだよりを作成し、会員の皆さんに多くの情報を発信していきたいと思っています。（T.I）

「ふくおかシルバーだより」 発行元／公益社団法人福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目21-16
TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

HP <http://www.fukuoka-sjc.org/> e-mail honbu@fukuoka-sjc.org